

事務事業評価

平成 23 年度

担当グループ まちづくり管理グループ

基本事項	事務事業名	霊南山ノ神線整備事業				整理番号	1707	
	根拠法令等	都市計画法、道路法			実施を義務付ける規定	○あり ●なし		
	関連する市勢振興計画の基本計画	章 第2章 地域内外との交流に必要な基盤をつくる	予算科目	8 款 5 項 3 目	◎継続 ○新規			
		節 第1節 道路の整備	事業区分	施設整備				
事業の目的・実施状況等	事業の背景 (課題、市民の要望等)	本路線は、一般国道251号の桃山バス停付近から都市計画道路八幡町北門線の島原総合運動公園付近を終点とする、計画延長約1,380mの都市計画道路であります。 本路線を整備することにより、一般国道251号の交通渋滞の緩和や交通の分散化が図られ、自動車交通の円滑化による中心市街地の活性化を図ろうとするものであります。				計画期間	始期 平成 19 年から	終期 平成 24 年まで
	事業の対象及び目的 (誰に、何を、どのような状態にしたいのか)	今回の整備区間は、市道 上の町広馬場線(島原郵便局の前の通り)から、市道 中堀町新山線(白土湖から新山へ通じる市道)までの整備延長約280m、道路幅員は歩道を含め16mとなっております。 本事業により、車両交通の分散化と緊急車両等の円滑な通行を確保し、良好な市街地形成を図ろうとするものです。						
	目的達成のための手段・方法	事業を行う上で必要となる道路用地を取得するため、事業区域内にある建物等の補償調査をさせていただくとともに用地交渉を実施し、用地の協力をお願いする。また、用地の取得後は、一部区間の工事に着手する。						
	成果指標 (意図する状態の達成度を図るものさし)	名称等(内容)		単位	21 年度	22 年度	23 年度	
		①用地の取得 (全29筆、3,260㎡)		目標 筆	8	8	5	
			実績 筆	8	8			
			達成率 %	100.0	100.0			
	②工事施工 (改良工事 工事延長L=280m)		目標 m	0	0	150		
			実績 m	0	0			
			達成率 %					
活動指標 (意図する状態達成のために実施する活動等)			目標 実績					
			目標 実績					
事業費等の推移	年度		19 年度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度
	区分		実績値	実績値	実績値	実績値	予算	計画
	①直接事業費(千円)		50,000	136,118	332,000	154,033	108,090	178,000
	財源内訳	国 県 支 出 金	27,500	54,447	132,800	35,454	43,236	71,200
		地 方 債						
		そ の 他						
		一 般 財 源	22,500	81,671	199,200	118,579	64,854	106,800
	②従事職員給与費 b1×b2		1,436	3,219	3,223	3,226	2,894	2,911
	従事職員数(人) b1		0.20	0.45	0.45	0.45	0.40	0.40
	職員平均人件費 b2		7,179	7,153	7,162	7,168	7,236	7,277
事業費合計 ① + ②		51,436	139,337	335,223	157,259	110,984	180,911	

【1次評価】

◎事務事業の評価項目と評価の視点		評価内容（判断理由、課題等）	
目的 妥当性	①住民ニーズの変化等により事業の必要性や役割は変わっていないか	A=変わっていない B=一部変わった C=変わった 地区内の道路は狭く、島原郵便局へのアクセスが悪いため、本事業の必要性は変わっていない。	判定 A
	②事業を民間(NPO、市民、ボランティア等)に任せることはできないか	A=可能でない B=一部は可能 C=可能である 本事業は重要な都市計画道路を整備するものであり、民間に任せることは難しい。	A
	③対象等は事業目的に見合っているか、拡大や絞込む必要はないか、見直しによる費用対効果の向上が図られないか	A=概ね適切 B=改善の余地あり C=見直しが必要 D=適切ではない 将来の交通量を基に道路幅員などの規格を定めているため、適切である。	A
有効 性	④事業の実施により初期の目的や目標がどの程度達成されているか	A=達成している B=一部達成している C=あまり達成していない 工事中であり、現時点では達成していない。	C
	⑤成果の状況を踏まえ、手段等を工夫したり事業内容を見直すことで、成果をさらに向上させる余地はありませんか	A=十分成果が得られている B=検討の余地あり C=見直しが必要 事業内容の見直しについては、現時点では考えていない。	A
効 率 性	⑥活動量や成果を下げずにコストを縮減できないか、投入された資源量に見合う結果が得られているか、改善の余地はありませんか	A=概ね適切 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要 本事業に必要な経費の算出は、国県などの基準に基づいておこなっており、見直す余地はない。	A
	⑦事業の効率性を上げるため、他の事業との統合や事務の省力化など見直す余地はありませんか	A=見直す余地はない B=統合等、検討の余地あり C=見直しが必要 本事業は、国庫補助事業であるため他の事業との統合はできない。	A
	⑧組織間の連携や役割分担に改善の余地はありませんか。	A=概ね適切 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要 現状のままでよいと考えている。	A
公平 性	⑨事業の対象者全員に偏りなくサービスが提供されていますか。全体コストから見て受益者の負担割合は適切か、使用料等の見直しの余地はありませんか。	A=概ね適切 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要 道路が完成すると、不特定多数の方が利用される。	A
⑩市民参加、市民協働が配慮されているか、市民参加を拡大する余地や、新たに取り組む余地がないか A=概ね適切・現状維持 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要			A
判定評点平均			2.80
A=3、B=2、C=1、D=0として換算			

◎ 総合評価			
評価 結果	<input checked="" type="radio"/> A 継続実施(特段の見直しは行わない) <input type="radio"/> B 改善・見直しを行う <input type="radio"/> B1 事業規模の拡充 <input type="radio"/> B2 事業規模の縮小 <input type="radio"/> B3 事業内容の改善・見直し <input type="radio"/> B4 その他の見直し <input type="radio"/> C 休止(隔年実施などへの変更) <input type="radio"/> D 廃止(終期の設定等を含む)	判 断 理 由	・本路線の完成(供用開始)により、島原郵便局へのアクセスが向上するとともに、地域住民の災害時の避難路や緊急車両などの進入路となり地域の安全性が向上するから。
今後の課題及び改善策、見直しの状況	(実施上の課題等)		
・総合評価で、「見直し・改善」を行うとした場合、見直しを行う上での今後の課題や事務事業の改善・見直しを行うことにより予想される効果も併せて記載ください。 ・本年度の事業を実施するにあたり、事業内容等の見直し(改革・改善、終期の設定など)を行っている場合は、その内容についても記載ください。			

【2次評価】

総合判定	A 継続実施(特段の見直しは行わない)
備考	

【3次評価】

総合判定	
備考	

評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況		
① <input type="checkbox"/> 事業費縮減(事業の見直し)	③ <input type="checkbox"/> 成果向上に向けた事業費増加	↓ 予算措置額の増減
② <input type="checkbox"/> 民間委託等によるコストの縮減	④ <input type="checkbox"/> 事務の効率化による現状維持(事業内容の拡充)	69,910 (千円)